

2020年7月

近隣の医療関係者各位

相模野病院 放射線科
山根 拓郎

放射線検査における被ばく線量の説明用資料について

拝啓 平素は患者様の検査依頼のご紹介を頂き、ありがとうございます。

2020年4月1日から新たに医療法執行規則の一部を改正する省令が施行されました。この法改正では他院に放射線検査を依頼する場合に、紹介元の医療機関でも検査によって想定される放射線被ばくに留意した説明を行うことが求められています。

当院にご紹介いただく患者様の事前説明用資料として、下記の「放射線被ばくの早見図」をご紹介します。当院における紹介患者様のCTの被ばく線量は3.0～18.0 mSv程度であり、この早見図を用いてご説明頂くことが可能です。なお、図にはありませんが当院におけるマンモグラフィの被ばく線量は0.30 mSv程度です。

この「放射線被ばくの早見図」は下記のホームページからダウンロード可能です。医療法改正への対応として、少しでも皆様の助けとなれば幸いです。

敬具

記

資料掲載サイト

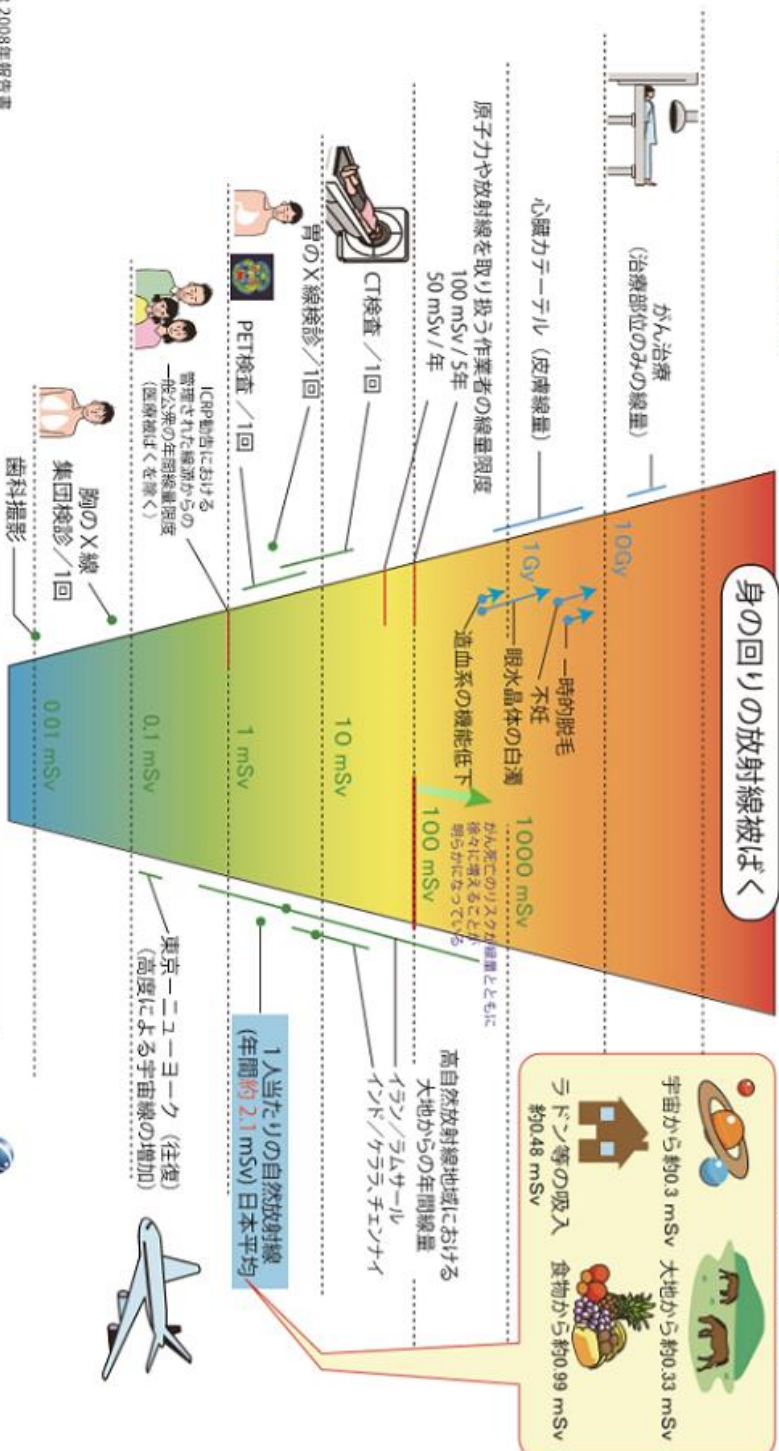
1. 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 量子医学・医療部門
放射線医学総合研究所
「放射線被ばくの早見図」について
<https://www.nirs.qst.go.jp/information/news/2013/0729.html>
2. 環境省
放射線による健康影響等に関する統一的な基礎資料（平成28年度版）
<https://www.env.go.jp/chemi/rhm/h28kisoshiryo/h28kiso-02-05-12.html>

以上

放射線被ばくの早見図

人工放射線

身の回りの放射線被ばく



【線量の単位】

各臓器・組織における吸収線量: Gy (グレイ)
放射線から臓器・組織の各部位において単位重量あたりにどれくらいエネルギーを受けたのかを表す物理的な量。

実効線量: mSv (ミリシーベルト)
臓器・組織の各部位で受けた線量を、がんや遺伝性影響の感受性について重み付けをして全身で足し合わせた量で、放射線防護に用いる線量。各部位に均等に、カンペン様 1 Gy の吸収線量を全身に受けた場合、実効線量で1000 mSvに相当する。

- ・ UNSCEAR 2008年報告書
 - ・ ICRP 2007年勧告
 - ・ 日本放射線技術師会医療被ばくガイドライン
 - ・ 新版 生活環境放射線 (国民線量の算定)
 - ・ などにより、政医研が作成 (2013年5月)
- 【ご注意】
- 1) 数値は有効数字などを考慮した概数です。
 - 2) 目安 (点線) は対数表示になっています。目安がひとつ上がる度に10倍となります。
 - 3) この図は、引用している情報が更新された場合変更される場合があります。